

児童精神科 就学前発達外来について

この度北水会記念病院では令和4年4月より通常の発達障害専門外来に加えて、新たに就学前発達外来を開設することにいたしましたので御案内いたします。

就学前発達外来の概要

診察日：第1・3・5土曜日 ①10:30～ ②14:30～

内容：医師による診察、言語聴覚士による発達評価など。医学的発達評価をもとにお子さまの就学にあたり適切な進路の助言をいたします。

対象：受診当日年齢5歳～5歳6ヶ月の発達障害及び発達に悩みを抱えているお子さま（御予約はお子さまが4歳半時～5歳5か月時に受付いたします）。尚、本外来の対象とならない方には当院通常の発達障害専門外来を御紹介させていただきます。

予約：月曜日～金曜日（祝日を除く）9:00～13:00

お電話（029-303-3003）にて随時受け付けております。（完全予約制）

就学前外来設立に至った経緯

「集団の中に入れない」「予定の変更に対応できない」「こだわりがある」といった症状を有し、行き渋り、不登校となる発達障害の方の学習は深刻な社会問題となっております。2012年に文部科学省は、全国の公立小中学校の通常学級に発達障害のある児童生徒が6.5%在籍している可能性があることを発表しました。就学前の段階で、早期に発達評価を行い、教育的配慮が必要な方には通級指導教室、特別支援学級といった進路をお勧めすることは重要であります。北水会記念病院では、2019年4月より児童精神科外来を開設しました。多くの保護者の方から申し込みをいただき、現在初診の申し込みから実際に受診に至るまでの待機期間は長くなってしまっております。少しでも早く診察し、正確な発達評価、適切な支援を行いたいのはどのお子様にも当てはまりますが、中でも小学校入学前のお子様には何とか入学前に正確な評価を行いたいという想いがありました。そこで通常の児童精神科外来とは別枠で、新たに就学前発達外来を開設することになりました。

専門的、かつ標準的評価の必要性

発達障害を専門とする医師は全国的にみても不足している現状があります。現在専門医は少なく、また診断に要する診察時間が長いことは、全国的に専門外来の待機時間が長いことの一因となっております。そのような状況の中で発達障害の効率的な診断評価は喫緊の課題となっております。また、発達障害は医師同士で評価の一致が難しく、全国的に標準的な統一した診断評価も課題であります。北水会記念病院では、この事態を憂慮し、最近の人工知能（以下AI）技術を用いた専門的評価が行えないかと考えました。最近のAI技術の進歩は目覚ましいものであり、運動や会話といった専門的評価も短時間で効率的に評価できる可能性があります。北水会記念病院でもAI研究に協力することになりました。就学前発達外来を受診される方はできる範囲で構いませんのでAI研究に御協力いただければと思います。（研究に協力しない場合でも外来診療は通常通り行わせていただきます）研究に御協力いただいた方には、通常の診療の他、運動、会話、認知機能について詳細な評価を行います。その結果については専門家がレポートを元に報告し、今後のお子様の支援に役立てるよういたします。詳しくはスタッフに御相談ください。